

# 第1学年 特別の教科 道徳学習指導案

## 1 主題名 札儀正しい言葉（B 礼儀）

（教材名：どちらがいいかな 出典：生きる力1【日本文教出版】）

## 2 目標

心を込めた挨拶や振る舞いは、自分も相手も周りの人も気持ちがよくなり元気になることを理解し、進んで気持ちのよい挨拶や振る舞いをしようとする態度を育てる。

## 3 授業計画

### 【学習前の児童の姿】

本学級の児童は、幼いころから、挨拶などの礼儀を教えられ、ほとんどの児童が自分で挨拶ができると思っている。しかし、普段の様子を見ていると、人に言われるから挨拶をする、知っている人にだけ挨拶をする、自分の機嫌がいいときにだけ挨拶をするなど、進んで挨拶ができないこともある。その理由として、「なぜ挨拶が大切なのか、なぜ礼儀正しくすることが大切なのか」を考える機会が乏しく、言われるがままにしていただけということが考えられる。その一方で「挨拶をすると気持ちがいい」「心がぽかぽかする」「自分や相手もうれしくなる」など、挨拶のもつ力に気付いている児童もいる。その経験を振り返りながら、実感的に礼儀の大切さについて理解を深め、実践する態度を育てたい。

### （こんな教材の魅力を）【1時間完了】

- ・本教材では、礼儀正しいときとそうでないときを比較して、それに関係する人（自分・相手・周りの人）の気持ちの違いを考える。挨拶や礼儀正しい行いは、「一緒にがんばろう」「明日もがんばろう」「気持ちがいいな」「元気が出るな」などと、相手にも自分にも周りの人たちにも、大きな力を与えてくれるパワーがあることに気付かせたい。そして、気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作を心掛けて、明るく接することができる態度を育てたい。

### （こんな手立てで）

- ・教師と児童で役割演技をし、相手や周りで見ている人の気持ちを考えやすくする。
- ・お世話になっている方、地域の方に会ったとき、どうすればいいのか、また、その理由を考えることで、心を込めた挨拶や振る舞いは、自分も相手も周りの人も気持ちがよくなり元気になることに気付き、学習したことを実践できるようにする。

### 【学習後の児童に期待する姿】

- ・心を込めた挨拶や振る舞いは、自分も相手も周りの人も気持ちがよくなり元気になることを理解し、進んで気持ちのよい挨拶や振る舞いをしようとしている。

## 4 本時の指導

### （1）指導の構想

導入では、アンケートをもとに、どんな人に挨拶ができているかを確認する。また、挨拶ができない理由を考え、挨拶することや礼儀正しくすることの大切さについて考える。教師と児童で役割演技をし、礼儀正しいときとそうでないときの気持ちを考えることで、挨拶のよさについて考えを深めたい。また、「それを見てどんな気持ちになったのか」を問うことで、周りの人・見ている人の気持ちも考えさせ、それぞれの立場の気持ちの違いを気付かせたい。さらに、交通指導員さんや地域の方に会ったとき、どうすればよいかを考え、自分が挨拶や礼儀正しい振る舞いをすることが、相手や見ている周りの人もいい気持ちになることを理解し、実践できるようにしていきたい。

### （2）準備 （教師）挿絵（児童）ワークシート

### （3）学習過程

学習活動（時間）	予想される児童の反応	※教師の支援
1 挨拶についての経験を想起	めあて 挨拶をしたり礼儀正しくしたりすると、どんないいことがあるかな。	

<p>し、めあての確認をする。 (5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいことってあるのかな?</li> <li>挨拶をすることを忘れてしまうことがあるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>褒められるうれしいから家族や先生にあいさつするよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちがいいし、元気になるから、地域の人に「おはようございます」と言っている。心がぽかぽかするよ。</li> </ul>	※事前にアンケートをとり、挨拶についての経験を想起させ、本時の学習内容への課題意識を喚起する。
<p>2 教材を読んで考え、話し合う (30)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶すると、気持ちがいい。元気になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をすると相手が、うれしい気持ちになるよ。明るい気持ちになるよ。挨拶しないと、相手が悲しい気持ちになるよ。さみしい感じ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知らない人でも、学校に来ている大切なお客様だから気持ちを込めて挨拶するよ。挨拶すると自分も相手も元気になる。それを見ている人も笑顔になる。気持ちが通じ合って心がぽかぽかするよ。</li> <li>挨拶しないと、相手やそれを見ている人も嫌な気持ちになる。</li> </ul>	※児童がお客様役をすることで、お客様（相手）の気持ちを考えやすくなる。 ※どちらか自分の立場を明らかにして、それを選んだ理由を問う。 ※全体で話し合う前に、ペアで話し合い、気持ちがいい理由について考えをまとめる。 ※「知らない人だから、挨拶しなくてもいいよね？」と切り返すことで、挨拶は、相手を大切にする心があることに気付けるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶したり、靴をそろえたりすると気持ちがいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>靴をそろえて挨拶すると、相手も気持ちがいい。うれしくなるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早く遊びたいけれど、靴をそろえて挨拶すると自分も相手もそれを見ていた人もうれしい。気持ちがいい。</li> <li>靴をそろえないで挨拶もしないと、もう、遊びに来てほしくないな。嫌な気持ちになるよ。</li> </ul>	※「早く、遊びたいから靴をそろえなくてもいいよね?」「友達だから挨拶しなくてもいいよね?」と切り返し、自分が礼儀正しい挨拶や振る舞いをすることが、相手や見ている人も気持ちよくさせることに気付けるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おはようございます」と、元気に挨拶する。自分が気持ちよくなるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おはようございます」や「いつもありがとうございます」と挨拶すると自分も相手もうれしい気持ちになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちを込めて挨拶をすると互いにいい気持ちになる。元気になる。がんばろうという気持ちになる。笑顔になる。</li> <li>これからも気持ちを込めて挨拶したいな。</li> </ul>	※朝、交通指導員や地域の方に出会ったときを例に、日常生活の場面に広げることで自分事として考えを深める。
<p>3 振り返り (10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をすると、みんな気持ちよくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶や礼儀正しいことをすると、自分も相手も気持ちがよくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちのよい挨拶や礼儀正しい行動は、相手と心が通じ合いお互いに温かい気持ちになるよ。周りの人も、笑顔にする力があるよ。これから</li> </ul>	※板書を確認しながら、自分が挨拶をしたり、礼儀正しい振る舞いをしたりすることが、相手や周りの人を元気したり、笑顔にしたりする力があることに気付けるよ

			も自分から進んで挨拶をしたいな。	うにする。 ※ペアで伝え合い、その後全体で共有する。
--	--	--	------------------	-------------------------------

#### (4) 評価

- 心を込めた挨拶や振る舞いは、自分も相手も周りの人も気持ちがよくなり元気になることに気付き、進んで気持ちのよい挨拶や振る舞いをしようとする気持ちを高めることができたか。 (発言・ワークシート)